

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 特定疾患の臨床調査個人票を用いた難治性血管炎の臨床疫学研究』

【研究の背景および目的】

難治性血管炎に関する調査研究班では、9種類の指定難病である血管炎疾患を担当しています。指定難病患者は、毎年1回、臨床調査個人票を提出し、国から認定を受ける必要があります。臨床調査個人票には当該患者の診断・治療・重症度などに関する臨床情報が記載されています。そこで臨床調査個人票を用いて、難治性血管炎各疾患の患者背景、治療内容の経時的変化を検討し、本邦の難治性血管炎診療の実態を明らかにすると共に、診療ガイドライン改訂が診療実態に及ぼす影響を検討することを目的とする本研究を立案しました。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。厚生労働省より、結節性多発動脈炎の指定難病の臨床調査個人票に記載された情報の提供を受け、そのデータの解析を行います。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

なお、この研究に際しての利益相反はありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 膠原病科
職位・氏名 助教・川添麻衣
電話 03-3762-4151 内線 6591